

published by
生徒会
輝き号

Gyoshu News



1年間の集大成、努力の結晶が詰まった発表会！

8ヶ月間の経験

バイリンガルコースの高1は5月から12月の8ヶ月間、パーソナルプロジェクト(以下PP)に取り組んだ。PPとは特定の「国際的論題」に基づいたトピックをそれぞれ決めて行う個人プロジェクトである。今回、外交官について研究を行ったという徐志沅さんにPPについての話を聞いてみた。

「外交官についての研究を行ったことですが、そのトピックにした理由は？」と質問したところ、「自分の夢は外交官なので、PPを外交官について調べるひとつの機会として使った。進路について考えるいい機会になった。」と、自らの夢に対する前向きな姿勢がうかがえた。また、PPを通して学んだことを聞いてみると、「目標を持ち、計画を立ててプロジェクトを進めていく中で自分の根気のなさを感じた。」と、知識はもろろのこと、自分自身について見つめ直し、学ぶきっかけにもなったようだ。このプロジェクトを通してそれぞれ知識を得て、自身を高めたように思う。

(高1奥村)

BL数学プロジェクト



中学1年生から3年生のバイリンガルコースは、11月から12月の間に数学のプロジェクトに取り組んだ。1年生は様々な正多面体やアルキメデスの立体模型を制作し、2年生はバーコードの秘密や世界各国にある独自の計算法などについてポスターを製作した。3年生は、ストローとテープだけで

のタワーやクリスマスツリーといった造形をてがけた。このプロジェクトは、身近に潜む数学に触れることを通じて、数学に対する意識を変える良い機会になっている。

(中1山田)

才能光る暁秀音楽会

去る12月17日、中学生の音楽発表会が開かれた。発表会では、それぞれの学年が練習してきた合唱はもちろん、個人演奏や友達との合奏も披露された。私は合唱しか参加しなかったが、先輩や同級生がとてレベルの高い演奏をしていてとても驚いた。小学校のときは歌が中心の発表会だったが、中学の音楽会は色々な演奏を聴くことができて楽しむことができた。

(中1岩田)



各教科の取り組み作品 学びの集大成の展示



高1書道→



↑高1家庭科新聞

部活動紹介

合唱部

最近練習が増えているが、基本的には月曜日、木曜日、金曜日に活動している。男子、女子部員がそれぞれのパートを支えあっているからこそ成り立つ合唱。表現力を磨くことはもちろん重要だが、腹筋や背筋のトレーニング、発声練習などの基礎練習も欠かさず行っている。合唱部は、皆の知らない合唱曲ばかり歌っていると思っ

(中2杉山)



*お知らせ*3月18日に、合唱部は沼津市民文化センターでコンサートを行います。是非聴きにきてください！絶対後悔させません！

●箏曲部

毎週月曜、金曜に外部講師を招いて活動している箏曲部。部員は中高あわせて10人である。箏曲という伝統的な「さくら」のイメージが強いが、それ以外にも「千本桜」「涙そうそう」といった現代の歌のアレンジなども演奏している。部活の見学に行くと、今年から箏曲を始めたという中学1年

生がとても上手に綺麗な旋律を演奏していてとても驚いた。部員には経験者もいるようだが、部長を含め、多くは初心者として始めたようだ。講師の先生も優しく一人一人に指導していて、とても雰囲気の良い部活だ。

(高2佐野)

●茶道部

毎年文化祭では華やかな和装で多くの人をもてなしている茶道部は、毎週月曜日、外部から講師を招いて活動している。季節感のある、繊細で味味なお茶菓子も用意され、茶道部の大きな魅力となっている。もちろん、部員はお茶菓子を頂くだけでなく、お茶の点て方や作法を教わり、毎週練習を重ねている。

(高1梅田)

●中国語部

意外に知られていない部活である中国語部の紹介をする。中国語部は毎週金曜日の放課後、顧問の程先生の下、第一ゼミ室で行われている。主な活動内容は中国語の学習はもちろん、中国の文化を学ぶ事もできる。現在部員が一人しかいない状態で、部員を募集している。少しでも中国に興味のある方は、ぜひ見学に行ってみよう。

(高2山本)

●科学部

科学部は、化学班と生物班、ロボット班の3つに分かれて活動している。今回はその中から2つの班を紹介する。

○実験で理解を深める、化学班

実験をすることによって新たな知識を取り入れることができる化学班。毎週金曜日に化学室にて様々な実験をしている。部長の原くん(高2)は、「化学の内容を実際に体験することで、理解を深めることができます。」とい

いた。理科好きの人は入部して深い理解を得るのはどうだろうか。

(高2春田)

○ウーパーパーといえ、生物班

暁秀生なら、一度は見たいことがある「ウーパーパー」の世話をしているのは生物班。毎日、昼休みに水槽にいるウーパーパーと金魚にえさをあげている。また、月一回水槽の掃除をしている。部員の若林くん(高2)は「来年度お世話をしてくれてくれる人を募集しています。大切に育ててくれる人なら誰でも歓迎します。」と言っていた。気になる人は入部してみたいかだろうか。

(高2春田)



●写真部

今回は、あまり詳細が知られておらず謎の多い写真部について知ろうということ。部長であるフリアン君(高2)にインタビューした。部員わずか6人と、比較的小さめの部である写真部。活動日は特に決まっておらず、個人的に活動することがほとんどだ。活動内容は、主に自分の好きな写真を撮ること。部の名前通りである。また、撮った写真について、顧問である石川先生から技術的なフィードバックをもらい、最終的にはコンクールに応募している。

写真部の活動場所といえば、B棟3階にある暗室を思い浮かべるが、現在はフィルムを扱う部員が少ないため、暗室は一切使っていない。これにはとても驚いた。ここでフリアン君に写真部の魅力について聞いてみた。彼にとつ

て写真部の一番の魅力は、石川先生が写真についてとても詳しいため、さまざまな技術を学ぶことができることで、また、自由に活動できることも魅力だ、と笑顔で話していた。

写真部は、写真好きならレベル、学年を問わず歓迎している。写真を撮ることが大好きなあなた！一度入部を検討してみてくださいはどうか。

(高2古家)

●高校サッカー部

暁秀高校の部活動でもトップレベルの厳しい練習を積み重ねているサッカー部の渡邊裕耶くん(W)とマネージャーの門田京さん(K)にサッカー部の魅力について語ってもらった。

(W)「考え方の違う人たちを一つにまとめることが大変だ。チーム一丸となって目の前の試合に全力で臨み、勝ちにこだわっていく中で、一体感が生まれること。」

(K)「逆転をして、フィールド内の選手がハイタッチをして喜ぶ時が自分も一番うれいんです。また、新チームになってから2年生としての見本となるよう努力しています。最後までこのまま継続していきたいです。」

目の前の一つの課題に取り組んでいってほしいと思う。

(高2涌嶋)

輝く中学一一年生



第2号で、チアの世界大会で2位を獲得した中学2年生を取材しました。今回もすごい中学2年生を取り上げる。第26回新春静岡県一輪車競技大会という、高校生も参加する大会で総合1位をとり、全国放送テレビの取材も受けた、野島渚くん話を聞いた。

Q…一輪車は好きですか？

A…好きです。

Q…何歳のころに一輪車を始めましたか？

A…六歳のころに始めました。

Q…多数の賞を手に入れています。そのためにしていることはなんですか？

A…とにかく練習あるのみです。ありがとうございます。一輪車だけでなく、水泳でも活躍している野島くん、これからもがんばってください。

(中2杉山)

輝く中学三年生



今回の注目生徒は中3古島祐樹くん。彼の特技はサッカーである。その腕前は昨年の全国大会でベスト16を取ったクラブチームのエースだとか。本人も自分の実力を自負していて、周りの人も古島といったらサッカーという感じだ。2月26日に行われる球技大会は必ず優勝すると宣言し、ますます燃えている。高校でもサッカーを続けるようなので、古島くんの活躍で今まで以上に静岡県の高校サッカーが熱くなることを期待している。

(中3石井)

第二号で紹介した味噌作り ついに完成!

中学2年生が家庭科の実習で作った味噌が9月に完成した。熟成を記念して、家庭科の時間の調理実習で味噌汁を作った。具はカブである。葉まで、余すところなく使った。家庭科の先生、飛田先生が仰っていたが、カブの白い部分は、実ではなく、根、らしい。クラスの皆も驚いている人が多かった。丁寧に作った味噌汁は、班ごと味が、薄口だったり濃口だったりと違ったが、それぞれともおいしかった。余った味噌は、先

薬学部講座で将来を考える

12月19日、製薬会社に勤務されている古賀明子さんを講師に迎え、薬学部講座が行われた。参加した飯嶋くん(高2)は、「一つの薬が販売の許可を取るまでに五十年もかかることもあり、大変であることを学びました。また、薬学部は人気かつ難関のため狭き門であり、薬学部の中でも上位の成績を取る人が大切だと聞きました。それでも一人でも多くの人を救いたいという気持ちを胸に日々努力していきたいです。」と話してくれました。薬学部進学を目指して、考えたりしている生徒にとって、とても有意義な講座で、皆多くのことを学ぶことができた。

(高2涌嶋)

生がタッパーに詰めてくれ、持ち帰り、家でおいしくいただいた。

(中2杉山)

中学一年生26人に聞きました「面白い先生は?」ランキング!

- 計18人の先生方がランキングしたが、トップ5はこちらの先生方だ。
- 1位…桑野先生 (8票)
 - 2位…小川先生 (7票)
 - 3位…仁科先生 (6票)
 - 4位…渡辺綾華先生、生山先生、前田先生 (3票)
- 票が大きく割れつつも、トップ3は一票の僅差で、接戦であった。ランキングした先生の皆さんおめでとうございます!アンケートに協力してくださった皆さんありがとうございました。
- (中1岩田)

はがきに込めて

3年4組が担当した書き損じハガキの回収活動は、多くの生徒や先生方のご協力により、123枚集まった。このハガキは、フリーザチ

ルドレンで換金され、インドのラジュスタン州・ラジスマンド区で行っている水・衛生支援のために使われる。そこで、この企画を担当した窪田百合香さんに話を聞いてみた。

Q…どんな活動をしましたか？

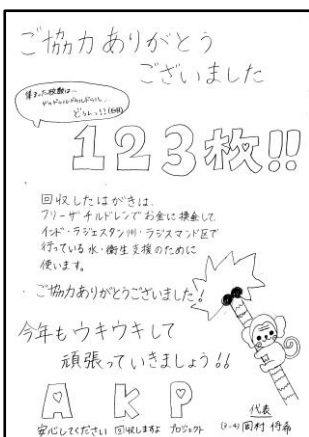
A…活動の内容や目的といった情報を明確に伝えるためにポスター作りとはがき寄付の呼びかけをしました。

Q…今のお気持ちは？

A…満足感でいっぱいですが、もう少し活動の幅を広げていければもっと多くのはがきを集められたと思います。ただ間接的ですが、他の国の人々のためになれて良かったと思います。たくさんのはがきを有り難うございました。

今回の企画はかなり成功したようだが、私共もこの気持ちがインドの人々に届くよう願っている。

(中3石井)



生徒会特集

予算も部屋もない、時たま名ばかりの生徒会ともいわれる暁秀生徒会ですが、今年新しい活動を取り入れました。バザーで行った募金とこの暁秀ニュースの発行は知られている活動かとは思いますが、今回はもっと地味な活動をお伝えします。

今年ではできる範囲で、生徒の意見を集めようと様々なアンケートを実施しました。特に一大行事である暁秀祭についての改善点や要望に重点をおき、一学期と三学期に二度意見を集めました。その中でも、具体的な要望が多かったの

中学生の楽しみといえば!ランチタイム♪今回はおいしそうな弁当をドーンと紹介!

は、「体育祭の借り物競争のお題がつまらない」ということでした。ということで、中央廊下に箱を設置し、借り物の面白いお題を公募します。他にも、具体的に実現可能と思われるアイデアや提案がある方は、その箱に意見を書いた紙を入れていただいでかまいません。待っています。

(生徒会長・佐野)



お母さん、いつも朝早くからお弁当を作ってくれてありがとう。おいしいお弁当を囲みながら、クラスメイトと語らう、昼休みが毎日楽しみ♪午後の授業の活力になっています◎

CONGRATULATIONS TO THE 3Z STUDENTS FOR FINISHING THE DP PROGRAM!

This November, the 3Z students took their final Diploma Program Exams and have officially concluded the course. The results have recently come back from the IB and were overall very good. In fact, the passing rate was approximately 90%, one of the highest achieved in Gyoshu. Furthermore, one of the students that passed 42 points out of the maximum of 45, the highest score any DP student in Gyoshu has ever received! So congratulations to all the 3Z students and for all the other students planning to take the DP program, がんばりましょう!

(grade11, Tsuda)

